



長期研修員だより

令和5年11月16日
発行：教育センター 人材育成課

総合教育 研究

本年度、校内研修支援プログラムを3つ開発しました。それぞれのプログラムについてタイトルと簡単な内容を明記します。研修のご依頼をいただければ、長期研修員が学校まで研修に伺います。ぜひご活用ください。



主体的に学習に 取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度とはどのような子どもの姿なのか悩まれていますか。本プログラムでは、ワークや話し合いを通して主体的に学習に取り組む態度とはどのようなものか、主体性が発揮される学習とはどのようなものか、主体性が発揮された子どもたちをどのように見取っていくのかということについて授業改善の視点でお伝えします。

パフォーマンス課題と ルーブリック

日々の授業で、課題作りに悩まれていますか。パフォーマンス課題とは、「知識・技能とそれらをどう使うか（思考・判断・表現）を求める複雑な実技課題」です。本プログラムでは、実際に課題に取り組んだり、作成したりする演習を通して、パフォーマンス課題の意義や作成する際のコツ、ルーブリックの活用方法などをお伝えします。

教育データの活用の 在り方

教育DXが推進される中、教育データをどう活用していくかが今後求められることでしょうか。では、教育データが活用がされている教育現場ではどのようなことができるでしょうか。本プログラムでは、様々な教育データをもとに授業改善や個別の支援を考える演習を通して、データ活用の「意義」をお伝えします。

～研究報告～

「特別の教科 道徳」の研究授業を行い、「板書・ICT」「発問」「抽出児童生徒」の3つの視点で授業を分析し、協議を行いました。協議会では、分析結果から授業者の意図を達成するための板書や発問の代替案を出したり、協議をしたりすることによって、授業技術のみならず授業の見方について学ぶことができました。

授業技術 研究

